平成26年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月７日

上場会社名　　株式会社ガイアックス　　上場取引所　名

コード番号　　3775　　ＵＲＬ　http://www.gaiax.co.jp

代表者　　（役職名）代表執行役社長　　（氏名）上田　祐司

問合せ先責任者　（役職名）執行役管理本部長　　（氏名）野澤　直人　　ＴＥＬ　03-5759-0376

四半期報告書提出予定日　　平成26年11月13日　　配当支払開始予定日　　―

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年12月期第３四半期の連結業績（平成26年１月１日～平成26年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第３四半期	3,146	8.8	△19	－	25	－	10	－
25年12月期第３四半期	2,891	1.2	△58	－	△78	－	△83	－

（注）包括利益　　26年12月期第３四半期　　10百万円（-%）　　25年12月期第３四半期　　△82百万円（-%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第３四半期	2.16	2.15
25年12月期第３四半期	△24.07	－

（注）１．当社は平成25年７月１日付にて１株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。このため、１株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。また、平成25年７月11日の株主確定日における株主に対しライツ・オファリング（ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て）に基づく新株予約権の株主割当てを行い、当該新株予約権の払込が完了しております。ライツ・オファリングに基づく払込金額は時価よりも低いため、前連結会計年度の期首に当該ライツ・オファリングに基づく払込による株式分割相当部分が行われたと仮定して、１株当たり四半期純利益を算定しております。

２．平成25年12月期第３四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在するものの、１株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第３四半期	2,650	1,531	57.6
25年12月期	2,627	1,518	57.5

（参考）自己資本　　26年12月期第３四半期　　1,526百万円　　25年12月期　　1,511百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	－	0.00	－	0.00	0.00
26年12月期	－	0.00	－		
26年12月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．平成26年12月期の連結業績予想（平成26年１月１日～平成26年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,100	4.0	30～130	－	20～120	－	0～100	－	0.00～21.48

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規　-社　（社名）　、除外　-社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期３Ｑ	5,147,752株	25年12月期	5,147,752株
②　期末自己株式数	26年12月期３Ｑ	480,018株	25年12月期	492,152株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期３Ｑ	4,659,894株	25年12月期３Ｑ	3,462,825株

(注)当社は平成25年７月１日付にて１株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。このため、発行済株式数（普通株式）は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。また、平成25年７月11日の株主確定日における株主に対しライツ・オファリング（ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て）に基づく新株予約権の株主割当てを行い、当該新株予約権の払込が完了しております。ライツ・オファリングに基づく払込金額は時価よりも低いため、前連結会計年度の期首に当該ライツ・オファリングに基づく払込による株式分割相当部分が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P３「１．（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（重要な後発事象） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、政府による経済政策や金融政策を背景に企業業績の向上や雇用情勢の改善が見られ、景気は緩やかな回復傾向が続いているものの、消費税率引き上げの影響による個人消費の低迷が懸念されることから、依然として先行き不透明な状況が続いております。一方、当社グループを取り巻く事業環境は、スマートフォン保有者のSNSサービス利用率が63.4％に達するなど（総務省情報通信白書平成26年版）、SNSの普及率が引き続き増加しており、世界的に展開する最大のSNSサービスを提供しているFacebookが、2014年９月の月間アクティブユーザー数が前年比14％アップの13億5,000万人に達した事を発表するなど、今後も市場が堅調に拡大していくことが見込まれます。また、このようなソーシャルメディアの普及を背景に、ソーシャルメディアをマーケティングやプロモーション、キャンペーン、従業員の採用活動等に活用する動きが加速しており、ソーシャルメディアの企業利用は大きく広がりつつあります。このような状況のもと、当社グループはソーシャルメディアの構築・運営・監視及びソーシャルアプリサポートのリーディングカンパニーとして、引き続き事業の拡大を図って参りました。

当第３四半期連結累計期間の業績は、主力事業でありますソーシャルサービス事業においては、ソーシャルゲーム向けユーザーサポートサービスの売上が引き続き伸長しております。また、受託開発事業においては、携帯キャリア向けの案件が増加し、売上高に貢献いたしました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は3,146,290千円（前年同期比8.8％増）となりました。営業損益については、引き続き新サービスの開発投資及び増床に伴う消耗品費等の増加により、19,938千円（前年同期は58,902千円の損失）の損失となりました。経常損益は、保険解約に伴う返戻金、助成金収入及び出資先の持分法による投資利益が営業損失をカバーしたことにより、25,986千円(前年同期は78,160千円の損失)の利益となり、四半期純利益は10,046千円(前年同期は83,364千円の損失)の利益となりました。

（ソーシャルサービス事業）

≪法人向けソーシャルメディア活性化サービス≫

Facebookに代表されるソーシャルネットワークやTwitterに代表される（マイクロ）ブログなど、企業によるソーシャルメディア活用のための企画提案・アプリケーション開発や、ガイアックスソーシャルメディアラボによるソーシャルメディアの啓蒙活動などを実施

≪法人向けソーシャルメディア運用・監視サービス≫

同ソーシャルメディアを企業が運営する上で、24時間体制での運営サポートや投稿監視サービスなどを、日本語及び英語を中心とした多言語にて提供

≪教育機関向けソーシャルリテラシーサービス≫

学校裏サイトの監視やネットいじめ対策コンサルティングである「スクールガーディアン」や、若い世代の前向きなソーシャルメディア活用を推進するネットリテラシー講座などを提供

≪ソーシャルゲーム向けユーザーサポートサービス≫

ソーシャルゲームに対するユーザー様からの問い合わせなどにつき、対応代行を24時間・多言語体制で行う「ソーシャルアプリサポート」を提供

≪法人向けソーシャルネットワークサービス≫

企業の社内コミュニケーションを有機的に活性化していく「エアリー」、日常業務の生産性を高める「Co-Work（コワーク）」などのクラウド型社内SNSを提供

≪デジタルコンテンツサービス≫

モバイル／スマホ向けコンテンツ配信「モバリスト」などを提供

当第３四半期連結累計期間におきましては、≪ソーシャルゲーム向けユーザーサポートサービス≫の売上が順当に増加しております。

この結果、売上高については、1,874,408千円（前年同期比0.7％増）となり、営業損益については、114,653千円（前年同期比65.1％増)の利益となりました。

（受託開発事業）

受託開発事業におきましては、子会社の株式会社電縁が主力事業としております。当第３四半期連結累計期間の業績は、第１四半期連結会計期間より、既存顧客からの受注が拡大したこともあり売上高については、順調に増加し前年同期に比べ伸長しております。営業損益については、売上増加に伴い開発人件費も前年同期に比べ増加しており、また、デジタルサイネージや新規コンサルティング案件の先行投資費用が嵩み、利益を圧迫いたしました。

その結果、売上高については、1,292,795千円（前年同期比21.9%増）となり、営業損益は、17,010千円（前年同期は7,557千円の損失）の損失となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、2,321,442千円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が75,671千円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.5%増加し、329,409千円となりました。これは、有形固定資産が28,094千円、投資有価証券が92,429千円増加したこと、及び長期預金が92,830千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、2,650,851千円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて8.3%増加し、824,566千円となりました。これは、主に賞与引当金が70,617千円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて15.3%減少し、294,490千円となりました。これは、主に社債が31,000千円、長期借入金が26,413千円減少したことよるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、1,119,056千円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、1,531,795千円となりました。これは利益剰余金が四半期純利益により10,046千円増加したことによります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

弊社の事業領域でありますインターネットビジネス市場は、ソーシャルメディアの利用者がスマートフォンやタブレット端末の普及もあいまって更に拡大していくことが予想されます。売上高については、堅調に推移すると見込んでおりますが、コスト面については、市場優位性の高いサービスへの新規投資を積極的に行いつつも、販売管理費等のコストの低減を図り、利益体質への改善を推進して参る予定です。

現時点においては、平成26年２月19日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成26年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,770,929	1,688,880
受取手形及び売掛金	415,345	491,016
仕掛品	62,332	83,387
その他	69,078	65,211
貸倒引当金	△5,642	△7,053
流動資産合計	2,312,043	2,321,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,062	51,806
車両運搬具（純額）	1,460	365
工具、器具及び備品（純額）	31,229	31,511
リース資産（純額）	－	5,162
有形固定資産合計	60,752	88,846
無形固定資産		
ソフトウエア	4,140	3,041
のれん	9,537	20,304
その他	145	145
無形固定資産合計	13,823	23,491
投資その他の資産		
投資有価証券	28,562	120,992
長期預金	109,210	16,380
長期貸付金	6,214	6,657
敷金及び保証金	90,134	72,965
その他	24,773	19,062
貸倒引当金	△18,103	△18,986
投資その他の資産合計	240,791	217,072
固定資産合計	315,366	329,409
資産合計	2,627,410	2,650,851

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成26年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	109,463	113,938
短期借入金	65,000	40,200
1年内返済予定の長期借入金	160,956	178,952
1年内償還予定の社債	41,000	31,000
未払費用	159,297	136,460
預り金	31,003	12,343
未払法人税等	15,207	15,050
賞与引当金	－	70,617
その他	179,238	226,003
流動負債合計	761,165	824,566
固定負債		
社債	69,000	38,000
長期借入金	246,201	219,788
その他	32,400	36,702
固定負債合計	347,601	294,490
負債合計	1,108,766	1,119,056
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,685	729,685
資本剰余金	1,042,667	1,044,022
利益剰余金	△120,509	△110,463
自己株式	△142,925	△139,502
株主資本合計	1,508,917	1,523,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,079	1,270
為替換算調整勘定	1,056	1,282
その他の包括利益累計額合計	2,135	2,553
新株予約権	7,564	5,485
少数株主持分	25	13
純資産合計	1,518,643	1,531,795
負債純資産合計	2,627,410	2,650,851

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成26年１月１日 至　平成26年９月30日）
売上高	2,891,582	3,146,290
売上原価	1,847,168	2,139,460
売上総利益	1,044,414	1,006,829
販売費及び一般管理費合計	1,103,316	1,026,767
営業損失（△）	△58,902	△19,938
営業外収益		
受取利息	741	830
助成金収入	2,392	8,512
為替差益	3,036	－
持分法による投資利益	4,902	38,530
未払配当金除斥益	4,690	－
保険解約返戻金	－	6,634
その他	1,722	2,056
営業外収益合計	17,485	56,563
営業外費用		
支払利息	6,601	5,402
支払保証料	491	468
為替差損	－	4,111
貸倒引当金繰入額	677	53
株式交付費	28,495	－
その他	478	602
営業外費用合計	36,744	10,638
経常利益又は経常損失（△）	△78,160	25,986
特別利益		
新株予約権戻入益	241	463
特別利益合計	241	463
特別損失		
提携解消損失	－	5,200
特別損失合計	－	5,200
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△77,918	21,250
法人税、住民税及び事業税	5,425	11,215
法人税等合計	5,425	11,215
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△83,343	10,034
少数株主利益又は少数株主損失（△）	20	△12
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△83,364	10,046

（四半期連結包括利益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成26年１月１日 至　平成26年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△83,343	10,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	675	191
為替換算調整勘定	91	226
その他の包括利益合計	767	417
四半期包括利益	△82,576	10,451
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△82,597	10,464
少数株主に係る四半期包括利益	21	△12

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

会社分割について

当社は平成26年８月28日の執行役会において、平成26年10月１日を効力発生日として、企業及び学校向けソーシャルメディアモニタリング事業、及びソーシャルアプリサポート事業（以下、「本事業」という）を新設する会社へ承継すること（以下、「本新設分割」という）を決議し、平成26年10月１日付で本新設分割の効力が発生いたしました。

本新設分割の概要は以下のとおりです。

①新設分割の目的

当社は、ソーシャルメディアの構築・運営・モニタリング及びソーシャルアプリサポートのリーディングカンパニーとして、ソーシャルメディアとソーシャルアプリに関わる様々なサービスを提供しておりますが、現在の事業ドメインにおいて、本事業を当社の更なる収益力の拡大と中長期的な企業価値の向上のための重要な事業と位置付けております。本新設分割は、本事業を独立した会社とすることにより事業の独自性を高めて経営責任の明確化を図り、本事業の成長を加速させることを目的としております。

②分割する事業内容、規模

ソーシャルメディアモニタリング事業、ソーシャルアプリサポート事業

平成25年12月期における売上高：999,817千円

③本新設分割の方法

当社を分割会社とし、新たに設立する「アディッシュ株式会社」を承継会社とする分社型の単独新設分割（簡易分割）です。

④会社分割に係る新設会社の概要

商号	アディッシュ株式会社
事業内容	ソーシャルメディアモニタリング事業、ソーシャルアプリサポート事業
本店所在地	東京都品川区西五反田1-21-8
代表者役職・氏名	代表取締役　江戸　浩樹
資本金	30,000千円
資産	129,631千円
負債	86,161千円
従業員数	66名（予定）

資本金の額の減少について

当社は平成26年６月13日開催の取締役会において、平成26年９月12日開催の臨時株主総会に、資本金の額の減少について付議することを決議し、同臨時株主総会にて承認可決され、平成26年10月20日付でその効力が発生しております。

①資本金の額の減少の目的

今後、柔軟かつ機動的に配当や自社株買い等の株主還元策を実施できる状態を確保するために行うものであります。

②減少する資本金の額

資本金の額729,685,600円を629,685,600円減少し、100,000,000円といたします。

③資本金の額の減少の方法

発行済株式総数の変更は行わず、減少する資本金の額629,685,600円の全額をその他資本剰余金に振り替えます。